

ぎょう虫卵検査についての近隣市の状況と市の見解

令和7年5月

	平成27年度調査	令和2年度調査	令和7年度調査
A市	年2回実施していたが、2年間陽性者いなかった。平成28年度からは中止する。(症状があったら、個別にするかも)	平成28年度より中止しているが、中止したことで特に支障はない。もしかしたら、個別に受診しているケースがあるかもしれないが、保育園から報告はあがっていない。	中止している。
B市	年1回実施していたが、陽性者は殆どいなかった。平成28年度からは中止する。	平成28年度より中止しているが、中止したことで特に支障はない。	中止している。
C市	年2回実施していたが、陽性者は殆どいなかったが、平成28年度からは健康診断の一環として、年1回行うことになった。	陽性者が「0」ではないので、年1回の検査は継続して行う。	令和5年度から中止している。陽性者がほとんどいないこと、継続の根拠がないため。
D市	園児と職員も年2回実施していたが、陽性者は1%位だった。平成28年度は園児は年2回続けるが、職員は中止する。	今後検討するかもしれないが、現時点では年2回の検査を継続していく。	平成30年度から年1回の検査を継続している。今後に関しては、水遊びや生活の場の共有もあるため継続予定。
E市	年2回実施していて、プールもやっているの、平成28年度も幼稚園と合わせて年2回実施する。	プールやクッキングなどの行事があるため、年2回の検査を継続していく。	令和4年度より中止している。検査の実施が必須ではないため。
F市	年2回実施していたが、陽性者は殆どいなかった。平成28年度は学校が実施しないことになったので、保育園も合わせる方針。	平成28年度より中止しているが、中止したことで特に支障はない。	中止している。

<船橋市としての見解>

同じ児が複数回陽性になることや兄弟共に陽性が見られないこと、また、生活しているうえでの衛生環境の水準は向上しており、集団感染として捉える理由は低いと考える。平成28年度以降10年間の陽性者の割合では、全て1%を下回っている。このことから、ぎょう虫卵検査については、廃止としたいと考える。